見積依頼書 【Battery Charger： 消費電力測定】

英語での御記入並びに該当項目にチェックを入れてください。

報告書に記載する情報となりますので、正確に御記入ください。　（全て必要な情報となります。）

尚、情報が変更する可能性がある場合は、その旨明記ください。

1. 申請情報

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者名 / Company name  |  |
| 申請者住所 / Address |  |
| 製造責任者名 / Manufacturer |  |
| ブランド名 / Brand name（\*報告書に記載されませんが、確認の為、御記入ください。） |  |
| 評価内容 | [ ] 　CEC（カリフォルニア州規制） 　　[ ] 　DOE（米国規制）　　　　　[ ] 　NRCan規制 　　　 　　[ ] 　オンタリオ州規制　　　　　[ ] 　ブリティッシュコロンビア州規制 |

1. 製品情報

2-1. Battery Chargerの種類

|  |  |
| --- | --- |
| [ ] 　消費者向け製品 | [ ] 　非消費者向け製品 |

2-2. Battery Chargerの定格

|  |  |
| --- | --- |
| 製品名 / Product |  |
| モデル名/ Model（モデルが複数ある場合は、各モデルの相違点をお知らせください。） |  |
| 入力定格 | 電圧（V） | 電流（A） | 周波数（Hz） | 電力（W / VA） |
|  |  |  |  |
| 出力定格 | 電圧（V） | 電流（A） | 周波数（Hz） | 電力（W / VA） |
|  |  |  |  |

2-3. Battery Chargerの機能

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 充電に関係の無い機能の有無(例：プリント機能、スキャン機能、WiFi、Bluetooth等) | [ ] 　有り有りの場合は”2-4”に詳細を記入願います。 | [ ] 　無し |
| ２つ以上の充電率又は異なる充電電流を選択出来るユーザー制御部の有無（有りの場合は詳細を記載頂き、ユーザー使用時にどの充電率を推奨するのか、推奨が無い場合はデフォルト設定をお知らせください。） | [ ] 　有り詳細：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　  | [ ] 　無し |
| 充電ポート数 | [ ] 　複数 （ポート数：　　　　　） | [ ] 　1ポート |
| 入力電力 | [ ] 　2kW以下 | [ ] 　2kWを超える |
| 満充電の表示の有無 | [ ] 　有り （表示内容：　　　　　） | [ ] 　無し |
| 手動式ON/OFFスイッチの有無(手動式ON/OFFスイッチとは、充電器に送られる電力をコントロールする為に、ユーザーによって操作されるスイッチの事を指します。) | [ ] 　有り  | [ ] 　無し |
| 電磁誘導式充電の有無 | [ ] 　有り | [ ] 　無し |
| USBチャージャーシステムの有無(充電器がUSBコネクタを有し、AC Adapterからの電力供給を意図している製品の場合は“有り“にチェックください。) | [ ] 　有り  | [ ] 　無し |
| 電池を接続する製品名（例： Digital Camera　等　英文で記載ください。） |  |

2-4. 充電に関係の無い機能の詳細 (該当する場合)

充電に関係の無い機能についてはOFF状態にて測定を行いますので、OFF状態への移行方法を記入ください。

　　　 OFF出来ない場合、その機能の最も低い電力消費モードにて測定する必要がある為、そのモードへの移行方法を記入ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 機能 | 充電時にOFF出来る | 充電時にOFF出来ない | OFF状態にする方法　又は最も低い電力消費モードへの移行方法 |
|  |[ ] [ ]   |
|  |[ ] [ ]   |
|  |[ ] [ ]   |
|  |[ ] [ ]   |
|  |[ ] [ ]   |
|  |[ ] [ ]   |
|  |[ ] [ ]   |
|  |[ ] [ ]   |
|  |[ ] [ ]   |

 　2-5. AC Adapter の定格 (Battery Chargerの電源がAC Adapterから供給される場合)

|  |  |
| --- | --- |
| 製造者名 / Manufacturer |  |
| モデル名 / Model |  |
| 入力定格 | 電圧（V） | 電流（A） | 周波数（Hz） | 電力（W / VA） |
|  |  |  |  |
| 出力定格 | 電圧（V） | 電流（A） | 周波数（Hz） | 電力（W / VA） |
|  |  |  |  |
| 製品と同梱販売 | [ ] 　する | [ ] 　しない |
| 推奨品の有無 | [ ] 　有り | [ ] 　無し |
| 間接給電外部電源 / Indirect operation EPS \*) | [ ] 　有り | [ ] 　無し |

AC Adapterを同梱販売する、または推奨するAC Adapterがある場合はそのAC Adapterを使用して測定致しますので、情報を御記入ください。
USBチャージャーシステムの場合はAC Adapterを使用しての充電が考えられますので、同梱販売・推奨品がない場合は任意のAC Adapterで

の試験が必要となります。

\*): クラスA外部電源で、直接給電外部電源はレベルⅥが要求され、間接給電外部電源はレベルⅣが要求されます。

　　　2-6. Battery Chargerに接続する可能性のあるBattery Pack一覧表

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| タイプ/モデル名 | 定格電圧（V） | 容量（Ah / Wh） | 電池の化学タイプ　\*) | 充電器との同梱販売　する／しない | 試験対象電池（コスモス記入欄） |
|  |  |  |  |  |[ ]
|  |  |  |  |  |[ ]
|  |  |  |  |  |[ ]
|  |  |  |  |  |[ ]

　　 \*): 化学タイプは下記より選択ください

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1. Valve-Regulated Lead Acid (VRLA) | 4. Nickel Metal Hydride (NiMH) | 7. Rechargeable Alkaline |
| 2. Flooded Lead Acid | 5. Lithium Ion (Li-Ion) | 8. Nanophosphate Lithium Ion |
| 3. Nickel Cadmium (NiCd) | 6. Lithium Polymer | 9. Silver Zinc |

2-7. Battery Packの情報

|  |  |
| --- | --- |
| 製造者名 / Manufacturer |  |
| モデル名 / Model |  |
| 充電時間　 |  |
| セルの数 （直列・並列） |  |

上記2-6項で、Batteryが複数ある場合、弊社で試験対象電池を選択しますので、このリストを適宜追加の上、該当電池全ての情報を御記入ください。

2-8. クレードルの情報　(Battery Chargerがクレードルを介してAC Adapter等から電源供給される場合)

|  |  |
| --- | --- |
| 製造者名 / Manufacturer |  |
| モデル名 / Model |  |
| 入力定格 | 電圧（V） | 電流（A） | 周波数（Hz） | 電力（W / VA） |
|  |  |  |  |
| 出力定格 | 電圧（V） | 電流（A） | 周波数（Hz） | 電力（W / VA） |
|  |  |  |  |

1. 必要資料・サンプル

以下を御準備・御提出ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 銘板図 | Battery Charger、Battery、AC Adapter　（AC Adapterから供給される場合） に対してそれぞれ  |
| 回路図 | Battery Chargerのみ |
| Battery Charger \*) | 2台 + 予備 1台　　 |
| Battery | 1度に充電できる個数 x 2セット + 予備 1セット　　 |
| 放電治具 | 1個 （Battery端子と電子負荷が接続でき、かつ着脱可能なもの） |
| AC Adapter及び電源コード(AC Adapterから供給される場合) | 2セット + 予備 1セット |
| クレードル(クレードルを介してAC Adapterから供給される場合) | 2台 + 予備 1台 |
| 取扱説明書 | 充電方法、セットアップを確認するため、できる限り早めに送付ください |
| 電池の仕様書 | 定格、セル数等の確認のため |

製品の仕様や状況により、その他の資料・情報やサンプル等を追加で要求させて頂く場合があります。
 　　\*): Batteryが本体に内蔵されており、ユーザーが取り外しできないタイプの製品の場合：
 　　　　試験では本体にBatteryが内蔵されている状態で充電し、次に満充電になったBatteryを本体から取り出してBattery単体での放電試験が

必要となります。 本体を分解する必要がありますので、本体の分解方法をお知らせください。 分解困難な場合はその旨ご連絡ください。